

滝川市の健康課題

【健康課題まとめ】

第2次アクションプランの評価や統計データ等の分析から健康課題を抽出しました。市民の健康寿命の延伸を妨げる要因として以下のようにまとめ、第3次アクションプランの重点対策へつなげ、取り組みます。

生活習慣病の発症、重症化

- ・ 高血圧の有所見者が多く、治療中の有所見者も多い。
 - ・ メタボリックシンドロームの該当者が多い。
 - ・ 平均余命に影響する死因のうち予防可能な疾患である脳血管疾患、腎不全の死亡率が高い。
 - ・ 喫煙、飲酒をやめられない人が多い。
 - ・ 過度な飲酒をする人の増加。
- このことから、動脈硬化症が進行していると思われる生活習慣病に起因する疾患での死亡率が高い。

健診受診率が低い

特定健診、がん検診の受診率が低く、健康状態不明者も多いことが考えられる。
自分の健康状態を把握している市民が少なく、重症化してから受診するケースが多いことがうかがえる。

基本的な健康づくりのための生活習慣

食生活

- ・ 子どもや若い世代の欠食習慣があり、健康的な食生活を送っていない人が多い可能性がある。

歯と口腔の健康

- ・ 子どもの年齢に比例してむし歯が増えている。
- ・ 子どもの不正咬合の増加、何でもよく噛める人の割合が低下している。
- ・ コロナ禍での生活習慣や運動不足による筋力低下等も影響していることが推測される。

心の健康

- ・ 睡眠や飲酒の問題を抱える人が増えている。
 - ・ 社会活動に参加する市民が少ない。
- 新型コロナウイルス感染症の流行により人との交流機会が減少しており、孤立、孤独は心の健康にも影響すると考えられる。

- ・ 生活習慣病発症、重症化により、健康寿命や命に関わる合併症の発症リスクが高い。
- ・ また、生活習慣病に起因する脳血管障害による認知症の増加等、要介護となるリスクが高い。
- ・ フレイル状態の高齢者が増加する可能性がある。

健康寿命への影響

次期計画の重点的な取組

- ① 若い世代からの生活習慣病予防、壮年、高齢期の重症化予防。
リスク要因となる食習慣、肥満予防、喫煙や健康を害する過度な飲酒に対する働きかけ。
- ② 健康の保持増進のため、食生活、歯と口腔の健康、心の健康を守り、運動習慣の定着を図る。